

「丹波市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」 ∞令和2年度 進捗状況報告（令和元年度実績）∞

「地球温暖化対策の推進に関する法律」第20条の3第10項に基づき、平成30年度に策定した「丹波市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」～第三期実行計画～の進捗状況を報告、公表します。この計画では、実行計画の数値目標の達成状況等を把握し、温室効果ガスの排出抑制を行うことで、地球温暖化対策に取り組んでいくことを目的としています。

☆計画の概要☆

- ◎計画の基準年：平成25年度
- ◎実行計画期間：令和元年度～令和5年度（5年間）
- ◎調査対象施設：庁舎を含めた公共施設

【計画で対象となる温室効果ガス】4種類

- ・CO₂（二酸化炭素）、
- ・CH₄（メタン）、
- ・N₂O（一酸化二窒素）、
- ・HFC（ハイドロフルオロカーボン類）

◎基準年の温室効果ガス総排出量 **20,881t-CO₂**
 ☆行政活動起源 **17,201t-CO₂**
 ☆廃プラスチック起源 **3,680t-CO₂**

★削減目標★ 基準排出量（20,881t-CO₂）に対し
 21.2%（4,434t-CO₂）削減

☆令和元年度温室効果ガス排出状況☆

◎温室効果ガス総排出量 **19,917t-CO₂**
 ☆行政活動起源 **14,780t-CO₂**
 ☆廃プラスチック起源 **5,136t-CO₂**

令和元年度温室効果ガス総排出量

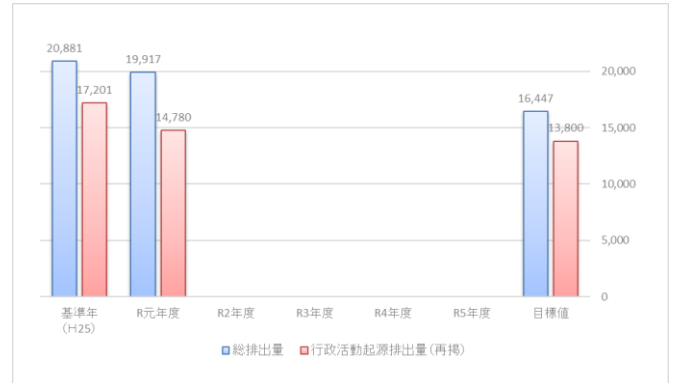
排出量は19,917t-CO₂となり、基準年の排出量（20,881t-CO₂）に対して964t-CO₂（4.8%）減少しました。しかし、プラスチックごみの焼却による温室効果ガスの排出量は、増加しています。

◎行政活動起源による排出量の減少の理由

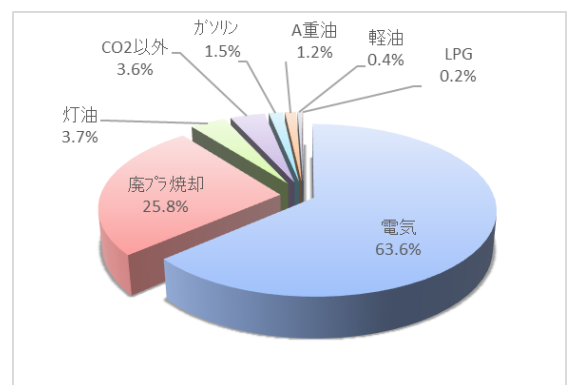
空調の温度設定（冷房28℃、暖房20℃）や、エコスタイルの取り組みを引き続き実施しました。施設の統廃合や設備の更新（照明のLED化、木質バイオマスの活用や省エネ効果の高い空調の導入等）もすすめています。

※排出量の計算方法は基準年に準じる。

●温室効果ガス排出量の推移（単位：t-CO₂）

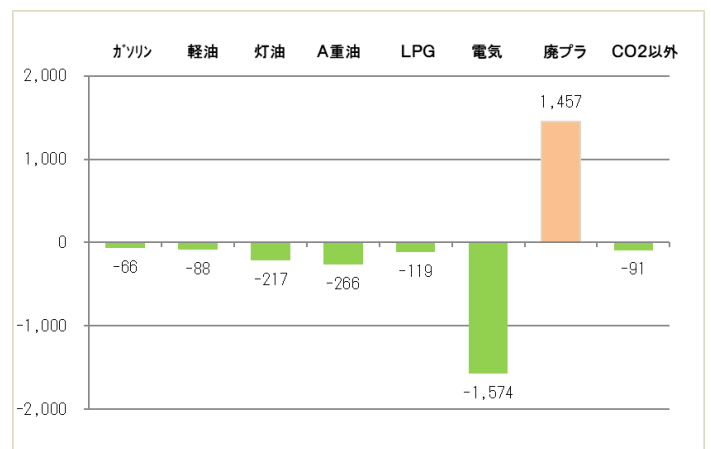


●温室効果ガス排出源構成（R元実績）



●排出源別温室効果ガス排出量及び増減状況（単位：t-CO₂）

項 目	H25年度	令和元年度		増減
	排出量	排出量	基準年対比	
燃料	ガソリン	356	290	-18.5%
	軽油	171	83	-51.5%
	灯油	963	746	-22.5%
	A重油	500	234	-53.2%
	LPG	152	33	-78.3%
電気	14,246	12,672	-11.0%	-1,574
廃プラスチック焼却	3,680	5,137	39.6%	1,457
CO ₂ 以外の温室効果ガス	813	722	-11.2%	-91
温室効果ガス全体	20,881	19,917	-4.6%	-964



温室効果ガス削減に向けての今後の課題

行政活動による排出量は減少しており、引き続きエネルギー消費機器や、空調機器の更新やLED照明の導入などのハード面の両方で排出量の削減に努めていきます。この点については、更新による高い省エネ効果が期待できるため、第三期実行計画の主要項目として盛り込んでいます。一方、燃やしたプラスチックごみからの排出量は基準年よりも増加しており、これを課題と認識し引き続き対策を検討していきます。